教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
理科	物理基礎	2	1	全学科・必履修

科目の概要	「物理基礎」は、中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動などの様々な物理現象やエネルギーへの関心を高め、観察、実験などを通して物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則、物理学の果たす役割を理解し、科学的な見方や考え方を養う科目である。		
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。		
教科書	啓林館　高等学校　考える物理基礎		
副教材等	啓林館　新訂版　物理基礎の基本練習		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	物体の運動・物理現象とエネルギーに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 また、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探求する技能を身につけている。	物体の運動・物理現象とエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動・物理現象とエネルギーについて関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図りながら、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価の方法	下記の①～⑤の項目をもとに、各学期の成績を判断する。 ①授業への取り組み 物理への関心等で判断する。 ②ノートへの記載内容 授業内容を適切にノート・プリントにまとめられているかを評価する。 ③観察や実験での取り組み 観察や実験中の態度、予想や考察内容、実験器具の取り扱い方、レポート等から評価する。 ④教科書や問題集の問題への取り組み 提出物を手がかりに、各問題への取り組みを評価する。 ⑤定期考査や小テスト 学習内容に合わせて問題を出題する。		
担当者より（注意事項等）	予習・復習をして物理現象について関心を持って欲しい。		

◎年間学習計画

学習内容	４月	５月	６月	７月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月
物体の運動	○	○								
力と運動		○	○							
仕事とエネルギー			○	○	○	○				
熱とエネルギー						○	○			
波とエネルギー							○	○		
電気とエネルギー								○	○	
エネルギーとその利用									○	○